

東北海区沿岸水温予報(2008年)

海域	経過 (11~1月)	現況(1月下旬~2月上旬)	見通し (2~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	12月の太平洋定線観測から、津軽暖流の勢力は平年並~やや強勢だった。 沿岸定地水温は平年並~やや高かった。	沿岸定地水温は平年並であった。 2月の日本海定線観測から、対馬暖流の勢力は平年並であった。	津軽暖流の勢力は、平年並~やや強勢と思われる。	12月の太平洋定線観測においても平年並~やや強勢で、2月日本海定線観測でも対馬暖流の勢力が平年並で推移し、沿岸の定地水温も平年並。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水試発表)	11月 表面: 黒崎沖合10~20海里及び40~50海里で平年並のほかは、1~4程度高め 100m: 黒崎沖合0~30海里、50海里及び樺島沿岸5~10海里にかけて平年並のほかは、1~8程度高め 12月 表面: 黒崎沖合10海里で1程度低め、黒崎沖合40海里およびトドヶ崎沖合40~50海里から樺島沖合20~50海里にかけて1~2程度高めのほかは平年並 100m: 黒崎沖合0~20海里からトドヶ崎沖合0~10海里にかけて平年並のほかは、1~5程度高め 1月 表面: 黒崎沖合20~50海里、トドヶ崎沖合20海里および50海里で1~2程度高め、トドヶ崎沖合10海里から樺島沖合40~50海里にかけて1~3程度低めのほかは平年並 100m: 黒崎沖合20~50海里で1~2程度高め、トドヶ崎沖合10~40海里から樺島沖合10~50海里にかけて1~3程度低めのほかは平年並	1月下旬 表面: 黒崎沖合20~50海里、トドヶ崎沖合20海里および50海里で1~2程度高め、トドヶ崎沖合10海里から樺島沖合40~50海里にかけて1~3程度低めのほかは平年並 100m: 黒崎沖合20~50海里で1~2程度高め、トドヶ崎沖合10~40海里から樺島沖合10~50海里にかけて1~3程度低めのほかは平年並 (経過の1月の内容を記載)	予報期間を通して、県下沿岸5~50海里でやや低め~平年並に推移する。	12月まで勢力を維持していた暖水塊は、勢力を弱めながら沖側に移動し、暖水域を形成している。衛星による表面水温画像を見ると、親潮第1分枝が沖側に移動した暖水域の岸側を南下する傾向を示しており、その影響は沿岸を中心に県南部海域までおよびものと推察される。	2月6日、40°06'N海域の0~50m深で水温3.8℃が観測された。その水深帯の塩分は33.200psu台であった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水試発表)	11月下旬には、表面水温は14~17℃で平年より概ね1~3℃高めであった。100m深水温については、13~17℃で概ね1~4℃高めであったが、特に沖合の143°E付近で高くなっていた。 1月上旬には、表面水温は9~14℃で平年より概ね1~3℃高めであった。100m深水温については、9~13℃で概ね1~2℃高めであったが、金華山の沖合142°20'E付近で平年と同程度との水温となっていた。	2月上旬には、表面水温は7~11℃で、平年より概ね1~2℃高めであった。また、100m深水温については、8~11℃で平年より概ね1~2℃高めであった。表面水温・100m深水温とも岸寄りの海域で、平年と同程度の水温となっていた。	142°E付近の岸寄りの海域並びに亘理沖合(38°Nライン)の143°E付近の海域では、3月に平年より低めだが、4月には平年並み又はやや高めで推移する。 松島沖合(38°30'Nライン)の142°E以東の海域並びに亘理沖合の142°~142°30'E付近の海域では、3月に平年より高めだが、4月には平年よりやや低めで推移する。 気仙沼沖合(39°Nライン)の142°E以東の海域については、3~4月に平年並みで推移する。	「宮城県沿岸海域の海況予測モデル」を用いて、100m深水温による予測を実施した。(2008年2月について、類似年は1976年、1994年であった)	カタクチイワシは南下が遅れている模様で、1月中も定置網に入網した。また、スルメイカが主に底曳網で漁獲され、1月の水揚量は前年同時期に比べ1,629%と多いが、前月に比べると21%で少なくなっている。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	11月は黒潮系暖水が本県沖80海里より沖合を北上し、50海里付近を南下したが、その勢力は弱く、また親潮系冷水の目立った波及もみられなかったため、本県沖50海里内の水温平均年偏差は表面ではやや高め、100m深では平年並であった。 12月は親潮系冷水、黒潮系暖水の目立った波及はみられず、水温は平年並であった。1月初め頃から南方から黒潮系暖水の波及がみられ、南部海域では平年を上回る水温がみられた。	1月に続き南方ごく沿岸からの黒潮系暖水の波及がみられたがその影響は弱い。中北部海域沖合からの黒潮系暖水の波及がみられ、40~50海里沖では平年よりやや高め~高めの水温がみられた。	黒潮系暖水の影響は3月中頃まで残るものの衰えてゆき、その後4月にかけて親潮系冷水の南下による水温の低下がみられる。	本県周辺海域の統計的手法による海況予測結果では、3月まで黒潮系暖水の影響による水温の高め傾向が継続するが、期間後半に向かって弱まってゆくと解析された。 2月上旬の海況は2005年12月に類似しており、当時は2ヶ月後に親潮系冷水の南下がみられている。	2007年12月下旬から1月下旬にかけて、刺し網などに漁労作業の妨げになる程ノロが大量に付着した。同時期、ケイ藻Coscinodiscus sppが稚魚ネット等で多く採集された。

常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)	11月：海域全体に南下流が卓越し、常磐北部海域から混合水が大規模に流入した。犬吠埼沖の黒潮は、10月下旬ころから変動し、その後はやや南偏して推移した。 表面水温：16～23 北部海域「やや低い」～「やや高い」 南部海域「やや低い」～「高い」 100m深水温：13～16 北部海域「やや低い」～「やや高い」 南部海域「平年並み」～「極めて低い」 12月：11月の海況からあまり大きな変化はなく、依然として南下流が卓越した。 表面水温：15～20 北部海域「低い」～「平年並み」 南部海域「極めて低い」～「平年並み」 100m深水温：21～27 北部海域「やや低い」～「やや高い」 南部海域「低い」～「平年並み」 1月：黒潮からの暖水が大規模に流入したため、非常に暖かい海況へ変化した。南下流は北上流へと変化した。 表面水温：13～20 北部海域「平年並み」～「極めて高い」 南部海域「やや低い」～「極めて高い」 100m深水温：13～18 北部海域「平年並み」～「極めて高い」 南部海域「やや低い」～「高い」	2月上旬現在、1月に発生した黒潮系暖水の大規模な波及の影響が残っており、非常に暖かい海況となっている。茨城県沖には時計回りの渦状の構造がみられ、逆にごく沿岸域は弱い南下流で、それらの境に強い潮目が形成されている。さらに常磐北部海域との境にも強い潮目が形成されている。 表面水温：14～20 北部海域「高い」～「極めて高い」 南部海域「やや高い」～「極めて高い」 100m深水温：14～20 北部海域「やや高い」～「極めて高い」 南部海域「やや高い」～「極めて高い」	概ね暖かい海況が持続する。ただし、親潮系冷水南下時には極めて低くなる。	茨城県水産試験場では、冬季の海況予測に「海況パターンによる予測」を用いている。今年1月、2月は暖水パターンであった。このことから今後も暖水傾向が続くと予測する。ただし、冬から春にかけては親潮が南下傾向を強める時期であるため、その推移には注目する必要がある。 (海況パターンとは)茨城県の海況を統計的手法を用いて、暖水、冷	2月の海洋観測の結果、過去3年で最高値を記録する観測点が全30点中19点あった(海面水温)。2月上旬に本県調査船が茨城県の沖合でサンマの南下群を目視確認した。魚体の詳細は不明であるが、痩せていることを確認している。大中小型まき網では、1操業中にサバ類やイワシ類に混じって多くの魚種が混獲された(ウルメイワシ、ヤリイカ、アジ、サンマ、サワラ等)。今期のゴボウセグロ(カタケチイワシ)は豊漁年の20分の1程度の漁獲しかなく大不漁である。サワラの漁獲量は2001年から2006年の5カ年平均で10.3Kg/年である。2007年は82.1Kg/年で5カ年平均の約8倍漁獲された。
--	---	--	-------------------------------------	---	---

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	4.0～+5.9	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	+2.5～+3.9
やや高い(20%)	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	1.5～+3.9	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	+1.0～+2.4
平年並み(40%)	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	1.4～-1.4	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	+0.9～-0.9
やや低い(20%)	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	1.5～-3.9	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	-1.0～-2.4
低い(7.5%)	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	4.0～-5.9	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	-2.5～-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~